

2019年3月28日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会  
ドイツメッセ日本代表部

## LIGNA 2019 5月27～31日にハノーバーで開催！

### ～木工・木材加工産業の未来を展示～

今年5月、ドイツハノーバーへ1,500社以上が木工・木材加工産業の未来を示す展示会LIGNAに集結します。デジタル化、自動化、IoTプラットフォーム、又は協働システムのいずれに関しても、各種のイノベーションが大規模にLignaで披露されます。総展示面積は130,000平方メートル（約140万平方フィート）に、最新の木工・木材加工の工場、機械及び機器を紹介する展示ブースから構成されます。

2月5日のLIGNA プレスプレビュー（記者向け事前説明会）で、ドイツメッセの取締役であるアンドレアス・グルーホフ（Andreas Gruchow）博士は、次のように強調しています。「2019年5月27日から31日まで、ハノーバー国際見本市会場に50か国以上からの企業が出展し、木工林業業界全体に向け最新鋭の加工ソリューション、アプリケーション、コンセプトを紹介します。開催期間の5日間、ハノーバーに世界的な主要技術プロバイダーが一堂に会し、木工林業産業のグローバルなホットスポットとなります。これほど国際的な認知度が高い見本市はほかにありません」。さらに、「2019年のLIGNAも、非常に多くの出展者が2年に1度のLIGNAの出展時に発表するため開発サイクルを調整しており、イノベーションの発表に最適な業界の見本市となっています。」とも述べています。

会場では、森林技術、家具・窓製造から機械システム、表面加工技術まで、すべての展示カテゴリーでイノベーションを見ることができます。また、完全機能化した家具生産工場の実演を見たり、インダストリー（Industry）4.0工場のIoTプラットフォームや最新の研究開発プロジェクトについて学んだり、見本市を通じてのネットワーキングイベントに参加したりすることもできます。アンドレアス・グルーホフ博士は、「製造業者にとっての大きな課題の1つは、製品の個別化傾向の高まりです。この傾向により製造業者は、できるだけ迅速に、収益性を確保し、効率的にカスタマイズされた製品を連続生産で提供するというプレッシャーに迫られています。LIGNA出展者はこうした種類の課題に対し、ソリューションを提示しています。」とコメントしています。

LIGNA 2019は、3つのテーマに焦点を当てています：「統合的な木材加工産業－カスタマイズされたソリューション（Integrated Woodworking – Customized Solutions）」、「スマート表面加工技術（Smart Surface Technology）」及び「リソースと技術へのアクセス（Access to Resources and Technology）」。「リソースと技術へのアクセス」は木材産業サミット（Wood Industry Summit）の主要テーマでもあります。

### 【統合的な木材加工産業－カスタマイズされたソリューション】

木材加工産業では、生産工場の効率化をさらに高める手段として、状態監視及び予知保全など、IoTの応用シナリオに強い関心が集まっています。こうしたシナリオでは、生産プロセスにおいて人は引き続き

不可欠な役割を担いますが、協働ロボット、自動搬送車、及び作業向けスマートサポート技術など、サイバーフィジカル支援システムによる援助を受けます。このように人と機械のハイブリッド生産システムが進む傾向にあり、その生産においては、生産工場とそれを運転する人が緊密に連携しています。グルーホフ博士は、「次回の LIGNA に来場いただければ、家具と木工産業の将来に何が待ち受けているのかについて、魅力的な洞察を得ることができるでしょう。」としています。

## 【スマート表面加工技術】

LIGNA 2019 での表面処理技術の展示は、「スマート表面加工技術」をテーマとし、今日の触覚、つや消し、反射表面への需要の高まりに応じて必要とされる、インテリジェント加工ソリューションと関連しています。デジタル印刷、装飾グラビア印刷システム、検査システム、最新型の吹きつけ塗装機械、ロボットシステム等を含みます。ここでも、コストを最小限に抑えながら柔軟性をこれまで以上に実現するためにはデジタル化と自動化が重要です。最新の表面技術、アプリケーション、イノベーション及びソリューションの全種類は、ホール 16 と 17 に展示されます。

## 【木材産業サミットにおける「リソースと技術へのアクセス」】

森林又は第一次木材加工産業のための技術プロバイダーにとって、特に「リソースと技術へのアクセス」がテーマの次回の木材産業サミットは、新たな成長市場開拓の絶好の機会となるでしょう。フォーラム、ラウンジ、展示エリアが揃うこのサミットは、国際的なコミュニケーションと技術移転に関するあらゆるテーマを取り扱います。中でも、立木から工場での最終加工まで、さらに生物的及び非生物的なダメージからの森の保護、気候と環境に優しい伐採プロセス、及び森林、木材産業の将来など、森林―木材―流通のバリューチェーン全体の最適化方法に注目します。ドローンによるデータ収集システム、モバイルアプリケーション、レーザースキャナ、及び高度に洗練された IT プログラムなど、デジタル技術は、森林情報及び総合的な伐採システムから現代の森林管理システムまで、森林バリューチェーン全体に及んでいます。またそれぞれのケースで、効率化及び生産性に関して真剣に取り組まれています。そのため、ディスカッション及び LIGNA2019 の展示全体を通して、デジタル化は中心的なテーマとなるでしょう。

## 【主な展示カテゴリー】

前回の LIGNA は、7つの主要展示カテゴリーからなる再編成された会場レイアウトとなっており、このレイアウトは出展者、来場者の両方から好評であったため、2019 年も引き続き採用しています。

- ホール 11 から 15 及び 27～受注大量生産用機器・機械
- ホール 16 と 17～表面加工技術
- ホール 26～木質パネル生産
- ホール 25～製材技術
- ホール 25 及び 26、パビリオン 32、33 及び 35、並びにオープンエアエリア ～樹木エネルギー
- ホール 15 及び 16～機械部品・自動化技術
- オープンエアエリア並びにパビリオン 32、33、及び 35～林業技術

## 【ガイドツアー】

ご来場の皆様に見本市を最大限に活用いただけるよう、「スマート表面加工技術」、「総合的な木工業―カスタマイズされたソリューション」、及び「製材技術―イノベーションとトレンド」に関するガイドツアーを提供しています。

LIGNA に関する詳しいニュース、情報、見本市の支援プログラム、ガイドツアー、特別展示、重要な製品発売情報は、[www.ligna.de](http://www.ligna.de) をご覧ください。

---

【本件に関するお問い合わせ】 一般社団法人日本能率協会 ドイツメッセ日本代表部 担当：竹生（たけお）  
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22  
TEL：03-3434-6447 / E-Mail: [DMS@jma.or.jp](mailto:DMS@jma.or.jp) 公式サイト：<http://www.ligna.de/>  
※取材のお問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：斎藤・川村）へお願いいたします。